

さあ、あなたと一緒に！

特集

やさしい
社会を
明石から

広報あかし

<http://www.city.akashi.lg.jp/>

No.1273

11月15日

2018年(平成30年)



市政へのご意見・ご要望は…



〔市民相談室〕TEL918-5050 FAX918-5102

受付時間／8:55～17:40

(土曜、日曜、休日と年末年始を除く)

休日・夜間の救急医療は…



〔消防局〕TEL921-0119 FAX927-0119

〔夜間休日応急診療所〕TEL937-8499

〔休日歯科急病センター〕TEL918-5664



今、元気な明石 を解き明かす！

住む人、訪れる人、赤ちゃんの数が増え、勢いづく明石市。
なぜ今、明石が選ばれているのか？今回は、市が進める「すべての
人にやさしいまちづくり」を通じてその理由を紹介します。皆さんも
一緒に、誰もが笑顔になれるまちづくりを進めていきませんか。



特集2～12面 やさしい社会を明石から

1面 回収した小型家電を金・銀・銅メダルに！ ほか

2面 3面 情報アラカルト 4面 第45回明石市文芸祭入賞者決まる ほか

明石市役所 〒673-8686 兵庫県明石市中崎1丁目5番1号 TEL078-912-1111

市HPで動画配信中

徹底紹介 明石が選ばれる理由

今の明石のまちづくりを動画(約9分)で紹介しています

見てね！





時代の変化や市民ニーズに応えたまちづくりをすすめています

やさしい社会を

30秒

で分かる今号のツボ



キーワードは
「やさしい社会を明石から」

今の明石は
人口が増えて
活気づいています



赤ちゃんも
増えてるよ!!

「なぜ明石が元気なのか？」
今号ではその理由を解き明かします

ポイント①

こどもを核としたまちづくり

「こども」に
予算と人をシフト!



- こどもを産み育てやすい環境をつくる
- こどもの成長を支える

これが
まちの元気や
活力に!



ポイント②

すべての人にやさしいまちづくり

- 障害のある人も、ない人も暮らしやすいまち
- 困ったときは一緒に支え合う



これは
誰にとっても
暮らしやすいまちに



これらの取り組みは
明石から全国に
広がっています。

さらに まちのみんなで
すべてのこどもを応援!



市長コラム

やさしい社会を明石から

明石市では、これまで障害者、こども、高齢者をはじめ、「人」に「やさしい」施策に積極的に取り組んできました。これらの施策が多くの人に選んでいただけるまちの魅力として、人口の増加、賑わいにつながり、まちの好循環が広がっているところです。

「やさしいまち」というのは、みんなで支え合い、助け合える居心地のよいまちであると同時に「強いまち」であると考えています。誰一人として排除するのではなく、寛容に包み込む、何かあったときにお互いさまと言えることがまちの強さのもととなると信じています。

また、市民ニーズに応えるために国に先んじて取り組んできた数々の施策は、明石発として全国の自治体に広がりつつあります。

今後も積極的な取り組みにより、人にやさしいまちづくりをさらに加速させていきます。皆さんと一緒に、この「やさしさ」を広げて、全国に誇れる明石のまちをつくっていきましょう。



明石市長
泉 房徳

施策

すべての人に
やさしいまちづくりとは

今号の特集では、明石市が進める“すべての人にやさしいまちづくり”を分野別に詳しく解説します。

特集目次

1. こども こどもを核としたまちづくり 04-06
2. 高齢者 住み慣れた地域で安心して暮らす 07
3. 障害者 誰もが暮らしやすいまちづくり 08-09
4. 犯罪被害者 安心して暮らせるまちへ 10
5. 更生支援 誰一人、置き去りにすることなく
支え合うまちづくり 10
6. 本のまち 手を伸ばせば本に届くまち 11
7. 豊富な人材で市民に寄り添う 11
8. 明石ふるさと大使 12
9. これからも元気な明石をみんなと一緒に! 12

明石から **特集**

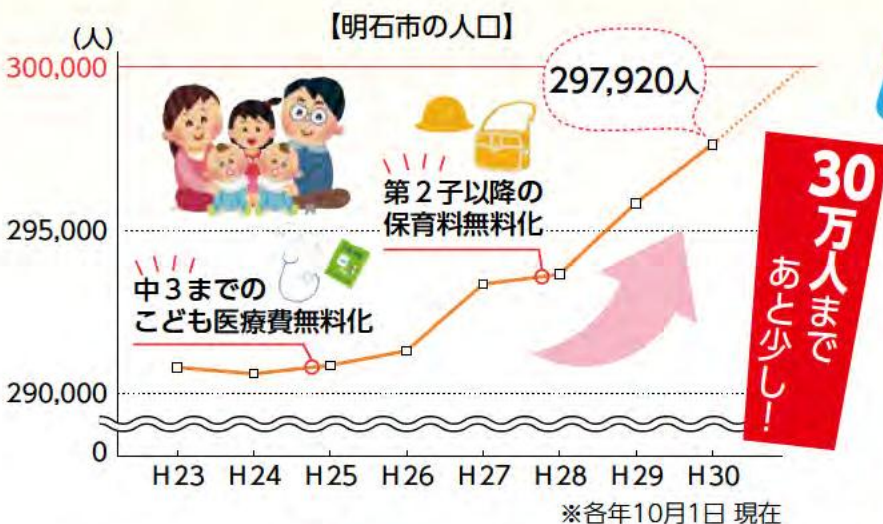
問政策室(TEL)918-5010 FAX918-5101



6年連続増加 年間 約2000人増

人口

明石市の人口は6年連続で増加しています。子育て施策の充実が、子育て世代の増加につながっています。10月1日現在の人口は29万7920人で、昨年から2012人増加しました。目標の30万人も目前に迫っています。



出生数が 3年連続増加 今年も昨年以上のペースで増加中

出生数も増加しています。今年も、昨年を上回る数で推移しており、同じ期間で比較すると9年ぶりの高い値になっています。



にぎわい

明石駅南側の 人通りが急増



平成28年、全面的にリニューアルした明石駅前。人通りが大幅に増加し、図書館や新しい店舗もオープンするなど、まちが明るく生まれ変わりました。

駅南への新規出店が 2倍 地価は 5年連続 で上昇*

にぎあう魚の棚商店街。駅前からデッキがつながり回遊性も向上しました。



※新規出店=平成27年と平成29年の国道2号南側商店街の店舗変化の比較。
地価=商業地平均価格(県「地価公示」より)

TOPIC 市への視察が 2倍に!

全国から注目されています

明石市の先進的な取り組みは全国から注目を集めています。昨年、明石市へ視察に訪れた人は前年の約2倍に上りました。

行政視察の人数



視察種目別ランキング

- 1位 離婚後のこども養育支援 P06
 - 2位 こどもを核としたまちづくり P04
 - 3位 こども総合支援条例
 - 4位 障害者配慮条例
 - 5位 犯罪被害者支援 P10
- (平成29年1月~12月調べ)

問議会局総務課(TEL)911-2600 FAX918-5112

財源

税収増加で 財源確保へ

人口増加や地価の上昇は税収の増加につながっています。個人市民税、固定資産税、都市計画税の税収は、平成24年度からの5年間で約21億円増加しました。

人口増加 地価上昇



税収が増加!

今、明石は元気であふれています!

こども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

本のまち

だから
選ばれています



こども

こどもを核とした まちづくり

人口・出生数の
増加につながって
います

こども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

本のまち

「すべてのこどもを地域みんなで応援する」という考えのもと、こども一人ひとりに寄り添いながら総合的な取り組みを進めています。

「いづむ」は、まちの「未来」です

中学生までの こども医療費の無料化

所得制限
なし

平成25年から実施している、こども医療費無料化。子育て世代の転入を増加させ、6年連続人口増加につながっています。



問 児童福祉課 (TEL 918-5027 FAX 918-5196)

第2子以降の 保育料の完全無料化

所得制限
なし

開西初

経済的な理由から理想とする数のこどもを持たない夫婦が多いなか、大幅な負担の軽減は出生数の増加にもつながっています。



問 こども育成室 (TEL 918-5093 FAX 918-5650)

全国トップクラスの安心感

みんなで出かけしよう/ 公共施設の入場料無料化

主な公共施設の入場料を無料にしています。思いっきり体を動かしたり、ゆっくり星空を眺めたり、お金や天気も気にせずに遊べます。



生まれる前から切れ目なく子育てをサポート

生まれる前

おなかにいる時から
全力サポート

母子健康手帳をお渡しする時に、妊婦全員と面接。妊娠期から支援していきます。

ぼくたち
生まれる前から
見守られてるんだね



生まれたら

こども全員に必ず会います

乳幼児健康診査や家庭訪問で、すべてのこどもに直接会って健康状態を確認します。



ブックスタート・
ブックセカンド
健康診査のときに
絵本をプレゼント

P11



問 こども健康センター (TEL 918-5656 FAX 918-6384)

こども

すべてのこどもたちを まちのみんなで応援

まちの未来であるこどもを、社会全体で守り育てようという取り組みが進んでいます。
来年4月には児童相談所も設置し、さらなるこどもの支援を進めていきます。



「こども」

こども食堂 全小学校区38か所に



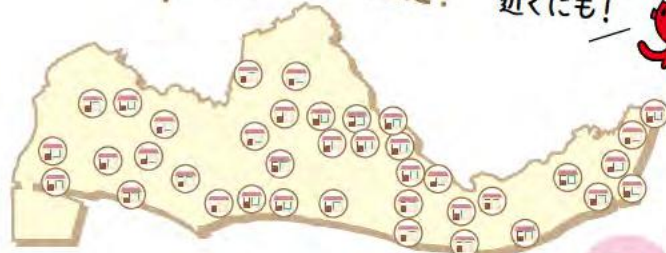
こども食堂が全28小学校区38か所に広がりました。ごはんを食べたり遊んだり、身近な場所でみんな一緒に楽しい時間が過ごせます。

問あかしこども財団 (TEL 920-9670 FAX 920-9671)



すべての小学校区に!

みんなの家の
近くにも!



平成30年
5月1日

あかしこども財団 設立



こどもの居場所づくり
子育て応援企業との連携
ボランティアの育成
地域のこども
支援活動をサポート

高齢者

障害者

明石こどもセンターの設置 (児童相談所)



こどもの虐待や貧困が問題となる中、こどもたちへの総合的な支援の拠点として、明石市独自の児童相談所を設置します。本気ですべてのこどもたちを支えていきます。



2019年4月設置予定の
明石こどもセンター

児童虐待 子育て
里親 不登校
障害 非行



問児童相談所準備担当 (TEL 918-5281 FAX 918-5136)

犯罪被害者

更生支援

あかし里親100%プロジェクト

すべてのこどもたちが家庭での愛情やぬくもりを感じながら、健やかに育つことができるよう、里親家庭を身近に増やす取り組みに力を入れています。

問児童相談所準備担当
(TEL 918-5282 FAX 918-5128)



今年10月に
里親相談室をオープン



成長に合わせて

こどもの健やかな育ちを支える

親子交流スペース
ハレハレ

明石市民は
利用無料!

問親子交流スペース ハレハレ (TEL 918-6226 FAX 918-6370)



子育て支援センター

いつも賑わう
プレイルーム

子育ての
悩み相談も

問子育て支援課 (TEL 918-5597 FAX 918-6191)



中学校給食、全校でスタート
心のこもったあたたかい給食を
届けています。

安全安心 食物アレルギー対応を
進めています

地産地消 明石のタコを
使った献立も

問学校給食課 (TEL 918-5594 FAX 918-5595)



明石の給食は
あたたか〜い



中高生世代なら
スタジオも楽器も
利用無料



自主企画のライブイベントも

AKASHIユーススペース

中高生世代交流施設 AKASHIユーススペース

ダンス、バンド活動や勉強など、
中高生世代の「楽しい!」「やって
みたい!」を応援します。

問AKASHIユーススペース
(TEL 918-6355 FAX 918-6370)

本のまち

こども

一人ひとりに 本気で寄り添う

すべてのこどもたちの笑顔のために、市は徹底的にこどもの立場になって、こどものための取り組みを進めています。

みんなが笑顔になるといいね！



こども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

本のまち

離婚前後の こどもの育ちを応援



親の離婚によってこどもが不利益を被らないよう、こどもに寄り添ったさまざまな支援を行っています。

☎市民相談室(TEL918-5002 FAX918-5102)

面会交流 を直接サポート



参考書式の配布

養育費・面会交流の取り決めに
関する書式を配布しています。配布
以降、市内で養育費の取り決めを
している割合は、全国平均より約1割
高くなりました。

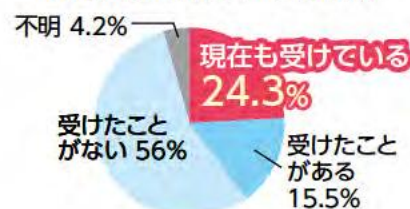


平成28年から、
法務省が全国の
自治体に書式を配布

養育費の立て替え

パイロット事業スタート！

【母子世帯の養育費の受給状況】



なぜ必要なの？

養育費を「現在も受けている」
母子世帯は全体の約24%に
とどまります。

※平成28全国ひとり親世帯等調査

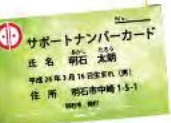


一人のこどもも見捨てません / 戸籍がない人への支援



生活支援や教育支援を含め、
行政として、できる限りの総合的
支援を実施しています。

- ・相談窓口の設置
- ・パンフレットの配布
- ・サポートナンバーカードの発行



戸籍の取得につながっています

相談窓口を設置し、本格的な支援が始めて以降、
7人のこどもの戸籍取得につながりました。

☎市民相談室(TEL918-5002 FAX918-5102)

全妊婦面接から
支援につながる
ケースも

児童扶養手当を毎月支給



ひとり親家庭に支給される児童扶養手当は、現在4か月分ずつ
年3回支給されています。明石市では、家計のやりくりをしやすく
するために毎月支給(無利子貸し付け)を実施しています。



国も来年から年6回支給に

2019年から国は2か月分ずつ年6回
支給に見直すことが決まりました。

明石の取り組みは
先行してるんだね



☎児童福祉課(TEL918-5027 FAX918-5196)

待機児童解消へ 本気の取り組み進行中

質も量も向上へ

市は、これまで待機児童数を上回る拡充を進めてきましたが、
保育ニーズの急増によって解消には至っていません。平成30年度は、
さらに取り組みを強化し、新たに2000人の受け入れ枠拡充を進めて
います。



質 保育の質の向上にも全力です
保育士の 確保 定着 専門性アップ

☎待機児童緊急対策室(TEL918-5267 FAX918-5163)

高齢者

住み慣れた地域で 安心して暮らす

4人に1人が高齢者の時代となり、一人暮らしの人も増えています。
市は、高齢者お一人おひとりの立場に寄り添いながら、すべての皆さんが地域で安心して暮らせるようさらに支援を拡充していきます。

安心して暮らせる地域づくりに向けて
新たに**3つ**の取り組みをスタート!

誰一人取り残さない
地域で見守っていきます



地域の皆さん



医療機関



事業所など



地域総合支援
センター・行政

こども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

本のまち



1 認知症検診を受けて安心 —検診費用を助成—



認知症チェックシートに
記入して郵送してください

認知症は早い段階で気付くことが大切です。より早く医療機関を受診していただくため、75歳以上の市民を対象に検診費用の助成などを行っています。

問 高年介護室 (TEL 918-5288
FAX 918-5106)

ステップ1

チェックシートを
提出した人に
**図書カード
(500円分)**
をプレゼント



ステップ2

認知症の
疑いがある人に
1人最大7000円
の検診費用
を助成

ステップ3

認知症と
診断されたら
**タクシー券
6000円分**
お渡しします

※もしくは居場所が
分かる端末(GPS)
基本使用料1年分無料に

2 「みんなの給食」スタート 食を通じた見守りを

世間話をしながら、
給食を一緒に食べましょう!

給食センターを活用し、
65歳以上の一人暮らしの
高齢者にあたたかい昼食
を提供するパイロット事業
を実施しています。

問 高年介護室
(TEL 918-5288
FAX 918-5106)



参加者の声

- ・外出する機会が増えました
- ・一人で食べるよりもみんなと
一緒に食べると楽しいですよ



みんな
楽しそう
だね〜



順次、拡大予定!

3 地域総合支援センターを 市内6か所に開設

身近なところで 相談をまるごとお聞きします

生活のしづらさを抱える高齢者や障害者、子育て世代の
困りごとや悩みをお聞きしています。市や地域、関係機関が
一体となり支援を行います。

問 地域総合支援担当
(TEL 918-5289 FAX 918-5049)



専門の職員が
相談をお聞きします



ご自宅へ
訪問します



好評につき継続中!

交通事故から
命を守る

運転免許、 返して安心プロジェクト

高齢者の自主的な免許返納を応援し、交通事故
の未然防止に取り組んでいます。昨年度の申請数
は900件になりました。

家族も喜んで
います



80歳を前に返納しま
した。車移動が必要
なときは、近くに住む
息子や孫に送っても
らっています。

今年4月に免許返納した
やまのこし ひろし
山之越 弘さん(朝霧東町在住)

今年も実施中

対象/65歳以上の市民

- 返納した人に / 図書カード3000円分
- 勧めた人にも! / 図書カード1000円分

問 交通安全課 (TEL 918-5036 FAX 918-5108)

障害者

誰もが暮らしやすいまちづくり

障害のある人が日常生活の中で不便に感じていることの中には、ほんの少しの工夫や配慮で変えられることもあります。市や商業者、地域と一緒に出来ることから始めています。

問福祉総務課 (TEL)918-5142 (FAX)918-5048



点字メニュー

筆談ボード
簡易スロープ

342のお店や
施設に設置しています！

誰もが利用しやすいお店作り、
地域作りに市が助成

全国初

商業者や地域の団体に対して、筆談ボードの購入、メニューの点字化、簡易スロープの工事などにかかる費用を助成しています。

点字メニュー
置いています。

飲食店で

スロープを置いています。
ベビーカーのお客さん
にも好評です。

洋菓子店で

筆談ボード
ご利用ください。

安心して
お買い物を

衣料品店で



どんどん
広がっているよ！



手話

「手話言語・障害者
コミュニケーション条例」を制定
平成27年4月施行

障害のある人となない人の幅広いコミュニケーションを支援するための条例を制定。

手話 要約筆記
点字 音訳

自治体では全国初
手話フォンを設置
(あかし市民広場)



明石ろうあ協会
あだち たつや
足立 達哉さん

手話体験教室



明石ろうあ協会
きたじま まさお
北島 正夫さん

手話で伝えよう！



耳の聞こえない人が日常生活で不便に感じることや工夫していることを教えてもらった後、手話を学びました。(10月25日 花園小学校)

手話教室を受講した児童の感想

耳の聞こえない人は、だれが何を言っているかわからないけど、手話があるとみんな話せたりするので手話っていいなと思います。



子ども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

本のまち

一緒に



あすく まつもと ゆきお
ASK 松本 幸雄さん

やさしいB-1グランプリ



昨年行われたB-1グランプリでは、障害のある人も案内役として活躍しました。
(平成29年11月25日・26日)

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて

先進的な取り組みが国から評価



共生社会ホストタウンに登録

やってみよう
パラスポーツ!



パラリンピックについて学び、
ボッチャを体験する児童。
(10月31日 藤江小学校)

みんなで一緒に
まちを歩いて
歩道の安全を確認



障害のある人と一緒に明石駅や市役所周辺を
歩いてバリアフリー環境を確かめました。
(10月21日)

気づいたことを
行政にしっかり
伝えていきます。



あかしユニバーサルモニター
いづづか ただよし
飯塚 理能さん



障害のある人となない人が一緒に交流する
イベントを開催(8月25日)

障害のある人と
一緒にまちづくりを
しているよ!



まち全体にやさしさが広がっています



まち一丸で取り組み実現!!

ホームドア

JR明石駅に設置が決まる

只今、工事中

JR明石駅(3・4番線)への昇降式ホーム柵
設置に向けた工事がスタートしました。

問政策室(TEL)918-5010 (FAX)918-5101



明石駅前で行った署名活動

障害者
団体

商工
会議所

市議会

1万1308人の
市民の署名が後押しに

これまでの市の動き

- ▼平成28年10月17日
国土交通大臣にホームドアの整備促進に向けた
要望書を提出
- ▼平成28年11月~12月
市内で署名活動を実施、1万1308人分集まる
- ▼平成28年12月27日
JR西日本にホームドアの早期整備に関する
要望書と市民署名を提出
- ▼平成29年
 - 明石駅(3・4番線)への昇降式
ホーム柵設置に向けた計画スタート
 - 市内のすべての駅に「内方線付き
点状ブロック(※)」の設置が完了

※ホームの内側を示す
内方線が設置された
点状ブロック



便利に、そして
もっと安全に!



乗り降りが
便利になりました。



身近なところでも
改修を進めています



大久保駅北側に障害者用の
停車スペースを設置しました。

子ども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

本のまち

犯罪被害者

安心して暮らせるまちへ

ひとりではなく、自分のこととして考えることも「やさしさ」の一つです。
困ったときは一緒に助け合う、そんなやさしいまちを目指しています。

子ども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

本のまち

ある日突然
家族が事件に遭い他界

なぜあの人が...
返して...
これから
どうしたら
いいの...

判決
損害賠償金の
支払いを命ずる

1

しかし、
そのお金は支払われず...

納得がいかない

判決が出て実際に
損害賠償金が支払わ
れることは少ない。

2

3

4

被害者や遺族に
代わって、市が
加害者に賠償請求

**その賠償金
明石市が立て替えます
(上限300万円)**

“もしも”は突然。

あなたのための制度です

犯罪被害者やその家族に寄り添った
きめ細やかな支援を進めています。

立替支援金制度を導入

平成23年4月

「犯罪被害者等の支援に関する条例」を施行
→相談窓口の設置、支援金・家賃補助など

平成26年4月

条例を改正

→立替支援金制度を全国で初めて導入

被害者の声を何度も
聞きながら
さらなる支援を検討



被害者と意見を交わす市長

平成30年4月

条例を再度改正

- **拡大** 立替支援金の対象者
- **拡充** 再提訴等費用の補助や
真相究明に要する費用の補助

明石市のような総合的支援を
導入する自治体が
増えているよ!



☎市民相談室(TEL)918-5002 FAX)918-5102)

あなたに寄り添い幅広い 支援をします!

転居費用の
補助

弁護士・
臨床心理士
による相談

家事や介護を
行うヘルパー
の派遣

こどもの
一時保育の費用
を補助

中傷・報道など
による精神的な
被害を防ぐ

「明石モデル」として取り組みが進んでいます



更生支援

誰一人、置き去りにすることなく
支え合うまちづくり



認知症の高齢者などが、社会からの
孤立や経済的な理由により、万引き
などを繰り返すことが全国的な問題
となっています。

そこで、明石市では

早期に適切な支援につなぎ
社会復帰を支えます!

37の団体で連携し、
支援のあり方を協議しています。

警察署

刑務所

医師会

検察庁

福祉施設

保護観察所

地域

商業者

罪に問われた人などの立ち直りを
周囲の人たちと一緒に支えていきます。

明石はリーディングシティ
期待しています!



あかし更生支援フェアで講演する
ジャーナリスト 江川紹子さん

更生支援の現場は
「地域」です! /



関係機関と共に条例作りをしています

条例制定へ向けて

国の再犯防止推進法の
成立を受け、市では、
「(仮称)明石市更生支援・
再犯防止等に関する条
例」の制定を目指してい
ます。

☎地域総合支援室 更生支援担当(TEL)918-5286 FAX)918-5133)

手を伸ばせば本に届くまち



読書は、感性や想像力を高め、豊かな心を育みます。
市は、本をより身近に感じられる「本のまち明石」への取り組みを進めています。

問政策室 本のまち担当 (TEL)918-5209 (FAX)918-5155)

お気に入りの一冊をみつめて



「あかし市民図書館」が平成29年1月にオープン。毎日多くの人で賑わっています。

1年間に100万人が来館
あかし市民図書館



2台体制
県内初

新しい移動図書館車が2台に
お届け先は77か所

「本、だいすき」
こどもたちと大型車めぐりん



便利ポイント

- ▼駅から2分 ▼1人20冊まで
- ▼平日午後9時まで



小型車くるりん



小型車で狭い道もスイスイ

病院や高齢者施設・
保育所にも本をお届け



大型車は電動リフトで
車いすも車内へ

※巡回日程は、市立図書館
ホームページに掲載



生まれたときから本と仲良し

健診受診時、絵本と読み聞かせ体験をプレゼント。
読み聞かせを通して、親子でゆっくりふれあう時間を作っています。

ブックスタート



ブックセカンド



豊富な人材で 市民に寄り添う

— 国から・民間から・専門職 —



明石市では、国・民間企業からの職員や、知識や資格を持つ職員が、それぞれの専門分野で活躍しています。

国の中央省庁から受け入れ

法務省・文部科学省・厚生労働省・国土交通省・防衛省

大手広告代理店など民間から

定住促進やふるさと納税リニューアルなど

専門知識や経験で暮らしをサポート

弁護士・社会福祉士・精神保健福祉士・手話通訳士など

7
全国最多の
(市区町村)

市役所の弁護士さんが
家まで来てくれて、
じっくり話を聞いて
もらえました。

うちのこどもは発達障害。
成長に合わせ、専門的な
アドバイスがもらえるの
で心強いです。



こども

高齢者

障害者

犯罪被害者

更生支援

本のまち

明石ふるさと大使

明石ゆかりのみなさんが、魅力を発信中!



明石たこ大使 さかなクン

東京海洋大学名誉博士・客員准教授。タコをきっかけに魚の世界に興味をもつ。



東京2020パラリンピック出場権獲得!

車いすテニス選手。リオパラリンピック銅メダリスト。



4大会連続出場

車いす卓球選手。リオパラリンピック日本選手団最年長。



シンガーソングライター。養親のもとで育った経験があり、こどもたちにエールを送る。

明石こども大使 かわしま川嶋 あいさん



料理の世界で明石はブランドです

新鮮な明石の前ものにこだわる料理人。テレビ番組でも活躍。

うらかみ ゆたか 浦上 浩さん



女優

たいら あいり 平 愛梨さん



フリーアナウンサー

あかえ たまお 赤江 珠緒さん

2019年 市制施行100周年

これからも**元気な明石**をみんなと一緒に!

明石城 築城400周年

来年、明石市は市制施行100周年を、明石城は築城400周年を迎えます。



B-1グランプリ全国大会 開催!
2019年11月23日(土・祝)、24日(日)



こどもも高齢者も障害者も、みんなが参加しやすい
さらにやさしいB-1グランプリ for SDGs
として開催!

さかなのまち

歴史のまち

時のまち

世界が目指す目標

明石がつくる未来

SDGs × 明石市

エス・ディー・ジーズ

誰一人置き去りにすることなく 助け合うまちづくり!



SDGsとは、世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために世界各国が合意した17の目標のことです。
このSDGsの基本理念は、明石のまちづくりと重なります。
これからも明石市は、進み続けます!

広報あかし

No.1273 11月15日号

発行/明石市

編集/政策局 シティセールス推進室 広報課

〒673-8686 兵庫県明石市中崎1丁目5番1号 TEL078-918-5001(直通) FAX078-918-5101

☑kouhou@city.akashi.lg.jp http://www.city.akashi.lg.jp/ 明石市

検索

市の人口と世帯数

2018年(平成30年)11月1日現在
※()内は前月比

人口 合計人口/298,123人(+203人)
男性/144,038人(+103人) 女性/154,085人(+100人)

世帯 世帯総数/127,002世帯(+125世帯)

市域
49.42km²

明石市広報番組

「海峡のまちあかし」

月~日曜日 午後 8時~ 8時15分

明石ケーブルテレビ 地デジ11ch 火~日曜日 午前10時~10時15分

市の情報を
市民の皆さんにお届け

●11月19日~12月2日「住み慣れた地域で、いつまでも元気に」